

第37回かばらふれあい川柳

課題「根性」 選 きよし

【秀】 踏まれても尚炎天の蟻になる

【評】 生涯を働くだけの蟻の貌

野島光三郎

【秀】 根性と書かれた文字は元気よい

【評】 根性の文字が揆ねてる額の中

中西和子

【準】 喧嘩にはまけたが泣かぬ子をほめる

【評】 負け認めない根性の子に期待

松井とよ子

【準】 根性で取ったバレエの北京行き

【評】 待望のバレエ北京へ金の汗

木村芳子

【準】 根性の二人介護の落し穴

【評】 負けん気の介護一人で五里霧中

小野昌子

根性があつてなお今ある命

【評】 今気よく譲る天からの命

弓 正幸

憧れる老の姿を歩み行く

【評】 老いてなお耀きを増す燦し銀

金子敏子

修業僧風雨に耐えて行を積み

【評】 仏道の教え風雨の裏にあり

野島光三郎

根性とリンチ重なる角力界

【評】 根性とリンチ土俵に植え違い

早乙女健志

まだ負けぬこの根性は父譲り

【評】 我無者羅な頑固は父を超えて似る

嶋田すゑ子

根性と体力つけて生きる知恵

【評】 幸せは気力体力あればこそ

戸村末野

根性でどこまでやるの伊達テニス

【評】 大和撫子テニスにも柔にも

野口昭司

次回の締め切り日は8月5日です



はじめての方も歓迎、お待ちしております。

秀句には賞呈あり。

投句の際には住所、氏名を書いてください。

投句用紙は自由です。(二句以上)

蒲原診療所の受付に投句箱を置きかえました。ご注意ください。

郵便での投句も受け付けます。官製はがき封書どちらでも結構です。

締め切りは 8月5日です。 あて先 〒120-0003 足立区東和3-4-15 蒲原診療所内 友の会事務局

課題「ボランティア」

【秀】 ほほ笑みに勇気を貰うボランティア

〔評〕 ボランティア命の笑みに迎えられ

小野昌子

【秀】 ボランティアできて幸せかみしめる

〔評〕 温もりで癒し癒されボランティア

弓 正幸

【準】 献血の列に並んだ作業服

〔評〕 剛健な献血だろっ作業服

野島光二郎

【準】 ボランティア行く先々にドラマあり

〔評〕 ボランティア十色のドラマ助演する

金子敏子

【準】 母さんはいつもみんなのボランティア

〔評〕 母さんの椀で味噌汁具が途切れ

平野千世子

支え合う心はいつもボランティア

〔評〕 信頼の心が通い合う奉仕

金子敏子

おばさんのその節介がボランティア

〔評〕 おばさんになると噴き出す正義感

早乙女健志

元気でこそ出来るよろこびボランティア

〔評〕 ボランティア出来るよろこび糧として

戸村末野

席ゆずる小さなこともボランティア

〔評〕 先ず一歩小さな波紋ボランティア

野口昭司

ボランティアの汗が眩しい車椅子

〔評〕 ボランティア惜しまぬ汗が美しい

野島光二郎

学校の行事で孫もボランティア

〔評〕 校外の授業奉仕も身につける

中西和子

ボランティア手と手をつなぎ愛の輪に

〔評〕 一人より二人ボランティアの力

嶋田すゑ子

ホームでの絵手紙教えボランティア

〔評〕 絵手紙を教えホームの壁飾り

木村芳子

手不足のカバーが出来たボランティア

〔評〕 ころよくこ返事のボランティア

松井とよ子

次の課題は「杖」と「聴診器」です

(表現自由)添削あり

例句「杖」

年金の杖に介護もぶら下がり

例句「聴診器」

聴診器ハートの囁きをチエック

きよし